

日本のこれから

② 国富町 本田凱豊（ほんだかいと）

現在の日本の社会問題として若者の投票率が少ないというものがあります。

そこで若者が選挙に行かない理由について調べてみました。すると、様々な理由が出てきました。その中で私が注目したのは2つです。一つ目は「選挙に関心がないから」二つ目は「投票に行くのが面倒だから」という理由です。これらの理由は若者の選挙に対する意識が原因だと感じましたので若者がそう考える原因と解決策について考えてみました。

まず、今の日本を変えなくていい、変えたくないという人が若者には多いのではないかと考えました。これは、現状をどうにか変えてほしいと思っているものの、選んだ候補者が理想とする政治をしてくれるのか不安に感じたり、現在の日本に対して大きな不満はなく特に困っていないという人が多いのだと思います。これらのことから選挙に行こうという気持ちにならないのだと思います。投票しても大して変わらないし、今の日本を変える必要もないから選挙に関心がないというよりも、関心を持つ必要がないと考える若者が多いのだと感じました。

また、若者の選挙に行く理由の中に「親や先生に投票に行くよう言われたから」という人も多数いるというデータも見つけました。このことから、投票に行っても選挙に関心があるとは限らないということがわかりました。このように選挙に関心がなくても行く人がいます。私も特に関心はないですが投票には行こうと前から考

えていました。関心はなくとも一度行くことにより関心を持つようになるかもしれないし、投票をすることにより日本の未来をよりよくできる可能性が僅かでもあると考えると、日本国民として選挙に行くべきだと私は思ったからです。

今回は選挙がテーマですがこのような社会問題について知ることはできても考える機会は多くはありません。

学生は勉強や部活で忙しく、私自身もこのような機会が無ければ選挙について深く考えず、このように調べることは無かったと思います。

選挙に興味がない若者に選挙を注目させるために重要だと思うことを3つ考えました。1つ目に新聞やテレビ、SNSなどの沢山の情報や影響力を持つメディアを使うことです。若者に身近なメディア、特にSNSで大きく取り上げるにより、少しでも興味・関心を持ってもらえる事が重要だと思います。

2つ目にYOU TUBEを利用して国や地方公共団体がもっと積極的に選挙をアピールすることが大切だと思います。動画は今や若者にとってスマートフォンを利用した手軽に視聴できるツールなので有名で人気のあるYOU TUBERとコラボして動画を作成することで選挙に関心を持たせることができると思います。

私の通っている本庄高校にも高校公認の「チーキーズ」というYOU TUBERがいます。今回の発表を機にチーキーズにも選挙について取り上げてもらうよう交渉したいと思います。

3つ目に政党関係者や地方公共団体が各学校に赴き、選挙の種類や内容、政党について伝えることが大切だと思います。選挙の基礎を学ぶことで、選挙に行く足がかりになると思います。同時に政党

関係者や地方公共団体の方との意見交換の場を設け、若者の選挙に行かない理由、選挙に対する不安な気持ちを解消すれば、選挙に行きやすくなると思います。

私はこれらの3つの解決策で政治や政策に関心を持つ若者が増えると思います。

私たちはこれからの日本の未来を作っていく若者なので、ひとりひとりがもっと率先して、行動を起こすべきです。

私も今年から選挙に行ける年齢になるので友だちを誘って、投票をしに行こうと思います。そうして少しでも日本に貢献できる若者になりたいです。